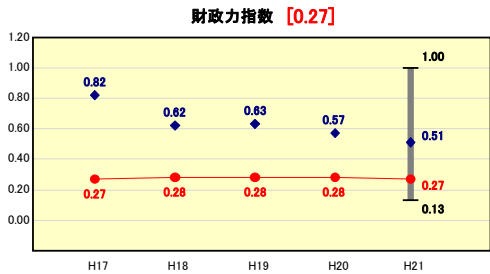


# 市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)

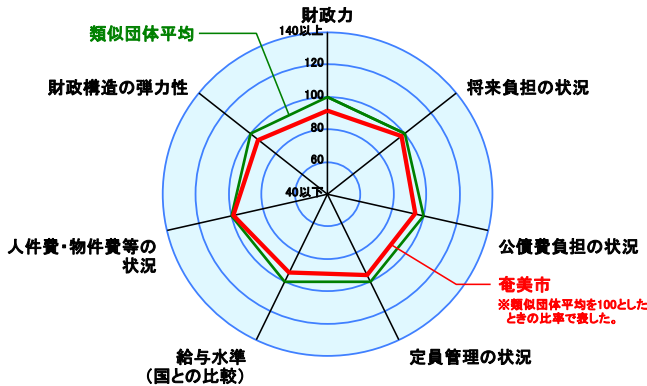
## 財政力



● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
— 類似団体内の最大値及び最小値

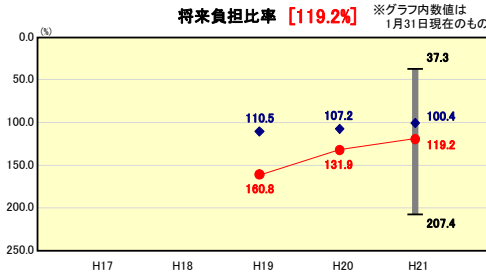
類似団体内順位: 7/9  
全国市町村平均: 0.55  
鹿児島県市町村平均: 0.29

人面標準	46,926	人(H22.3.31現在)
口積	306.26	km <sup>2</sup>
標準財政規模	17,067,770	千円
歳入総額	31,776,982	千円
歳出総額	31,292,591	千円
実質収支	484,391	千円



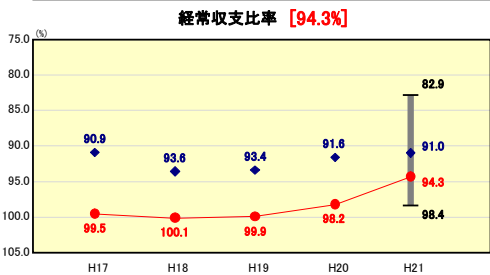
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同グループに属する団体を言う。  
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

## 将来負担の状況



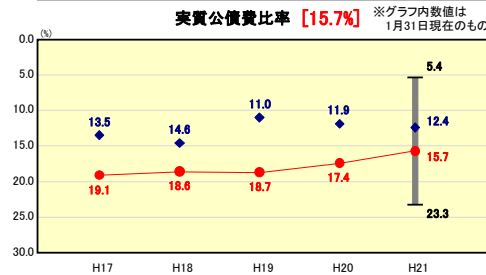
類似団体内順位: 5/9  
全国市町村平均: 92.8  
鹿児島県市町村平均: 80.1

## 財政構造の弾力性



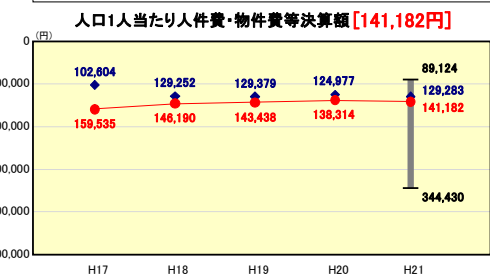
類似団体内順位: 7/9  
全国市町村平均: 91.8  
鹿児島県市町村平均: 91.3

## 公債費負担の状況



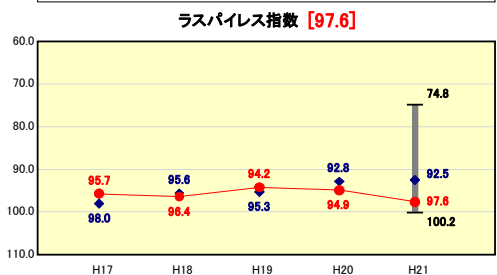
類似団体内順位: 5/9  
全国市町村平均: 11.2  
鹿児島県市町村平均: 12.4

## 人員費・物件費等の状況



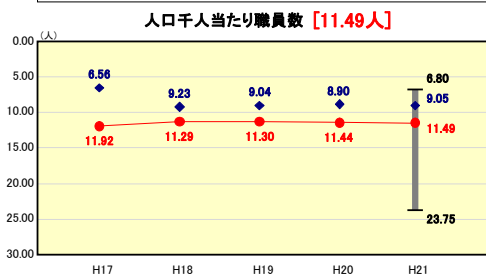
類似団体内順位: 5/9  
全国市町村平均: 115,858  
鹿児島県市町村平均: 126,877

## 給与水準 (国との比較)



類似団体内順位: 6/9  
全国市町村平均: 98.8  
全国平均: 95.1

## 定員管理の状況



類似団体内順位: 7/9  
全国市町村平均: 7.33  
鹿児島県市町村平均: 8.84

※人員費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
前年度決算時に比べて類似団体内順位に変動はないものの、0.01ポイント下がった。外海離島という地理的条件に長引く景気低迷の影響も加わり、地方税収入等は減額傾向にある。本指数を改善させるため、観光の振興等産業の活性化と雇用の確立を図り、地方税の増収に努める。

**【経常収支比率】**  
前年度決算時より比率は悪化した。依然、扶助費、特に生活保護費が類似団体と比較して突出している。引き続き、経常経費の削減と財源の確保など財政の健全化に努める。

**【ラスパイレズ指数】**  
職員の給料削減終了(平成21年11月)に伴い、前年度決算時より指数が上昇した。今後、大量退職(H25～30)を迎えるにあたり、年齢別職員構成の適正化と総人員費の削減に努める。

**【将来負担比率】**  
平成21年度においても、平成20年度同様、自己財源による補償金免除繰上償還を実施した結果、比率は131.9%→119.2%と改善された。しかしながら、この比率は全国市町村及び県内市町村平均より高率であり、23年度まで予定されている本制度(補償金免除繰上償還)を活用しつつ、起債枠の上限を堅持し、今後も地方債現在高の縮減に努める。

**【実質公債費比率】**  
過年度から実施している起債抑制策(一般会計・特別会計の上限枠38億円設定)により、単年度の同比率は17.4%→15.7%となり、前年度決算時より悪化した。引き続き、今後も地方債現在高の縮減と、辺地債、過疎債、合併特例債といった有利起債の活用により更なる改善に努める。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
定員適正化計画に基づき、新規採用を抑制している。しかしながら、人数は11.44人→11.49人とわずかに増加しており、依然、類似団体と比較すると高い水準である。退職予定者が今後10年で300人程度予定されており、引き続き、同計画に基づき、抑制に努める。